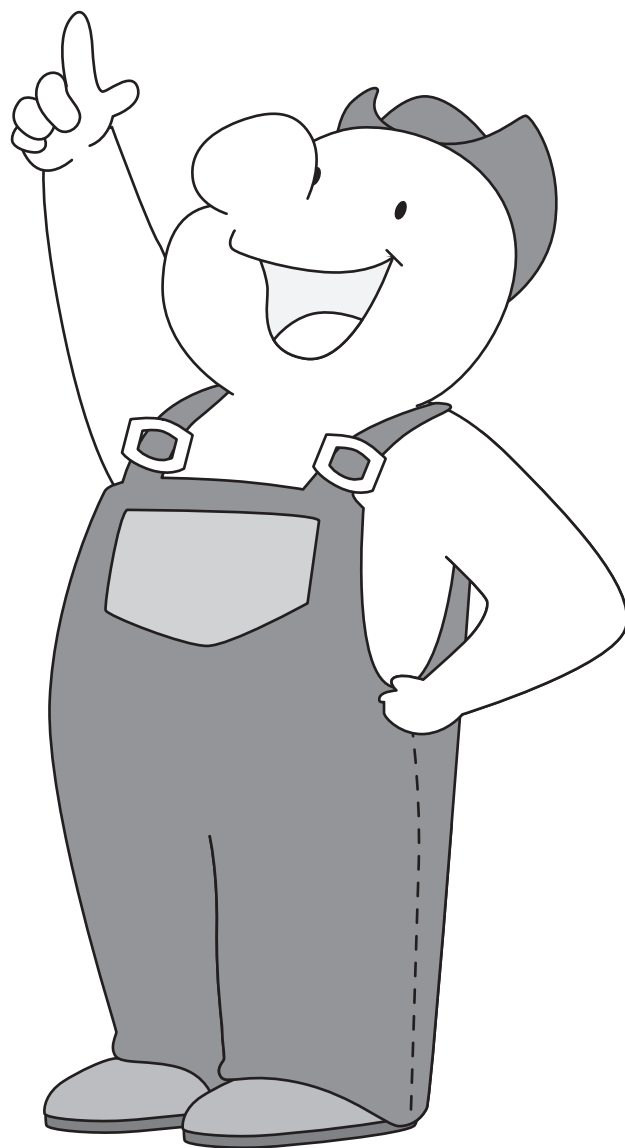


さあ、がんばろう



# ラパン 5-1

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

ゆき  
雪とけて

むら  
村いっぱいの  
こ  
子どもかな



うめ か  
梅が香に

ひ で  
のっと日の出る  
やまじ  
山路かな



ばじょうじゅうり  
馬上十里

き  
黄なるちようちよう  
ひと  
一つ見し



# ラパン 5-2

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

ば じょう じゅうり  
馬上十里

黄<sup>き</sup>なる ちょう ちょう  
一<sup>ひと</sup>つ 見<sup>み</sup>し



ゆき  
雪とけて

村<sup>むら</sup>いっ ぱいの  
子<sup>こ</sup>ども かな



うめ か  
梅が香に

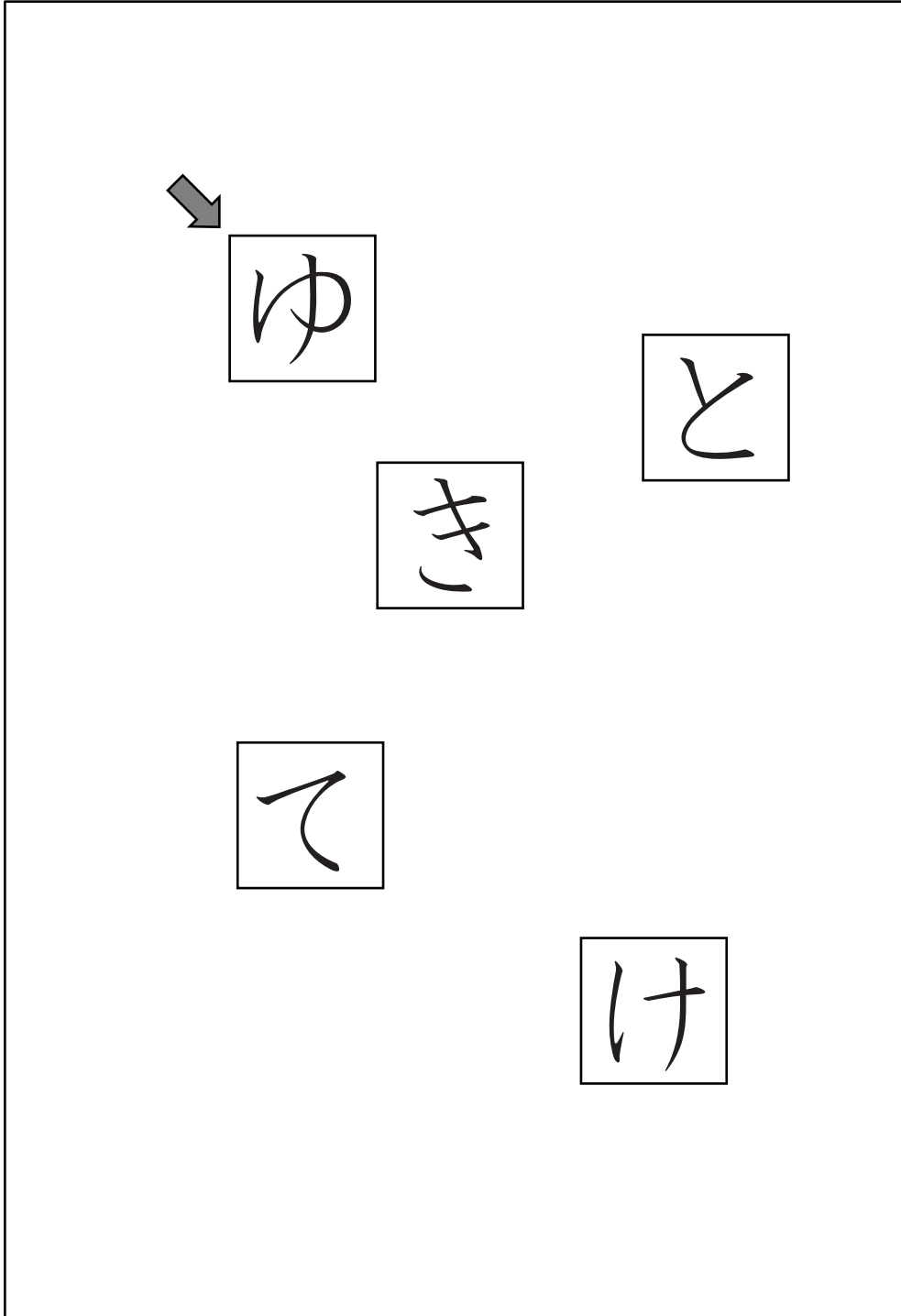
の っ と 日<sup>ひ</sup> の 出<sup>で</sup>る  
山<sup>やま</sup> 路<sup>じ</sup> かな



ラパン 5-3

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

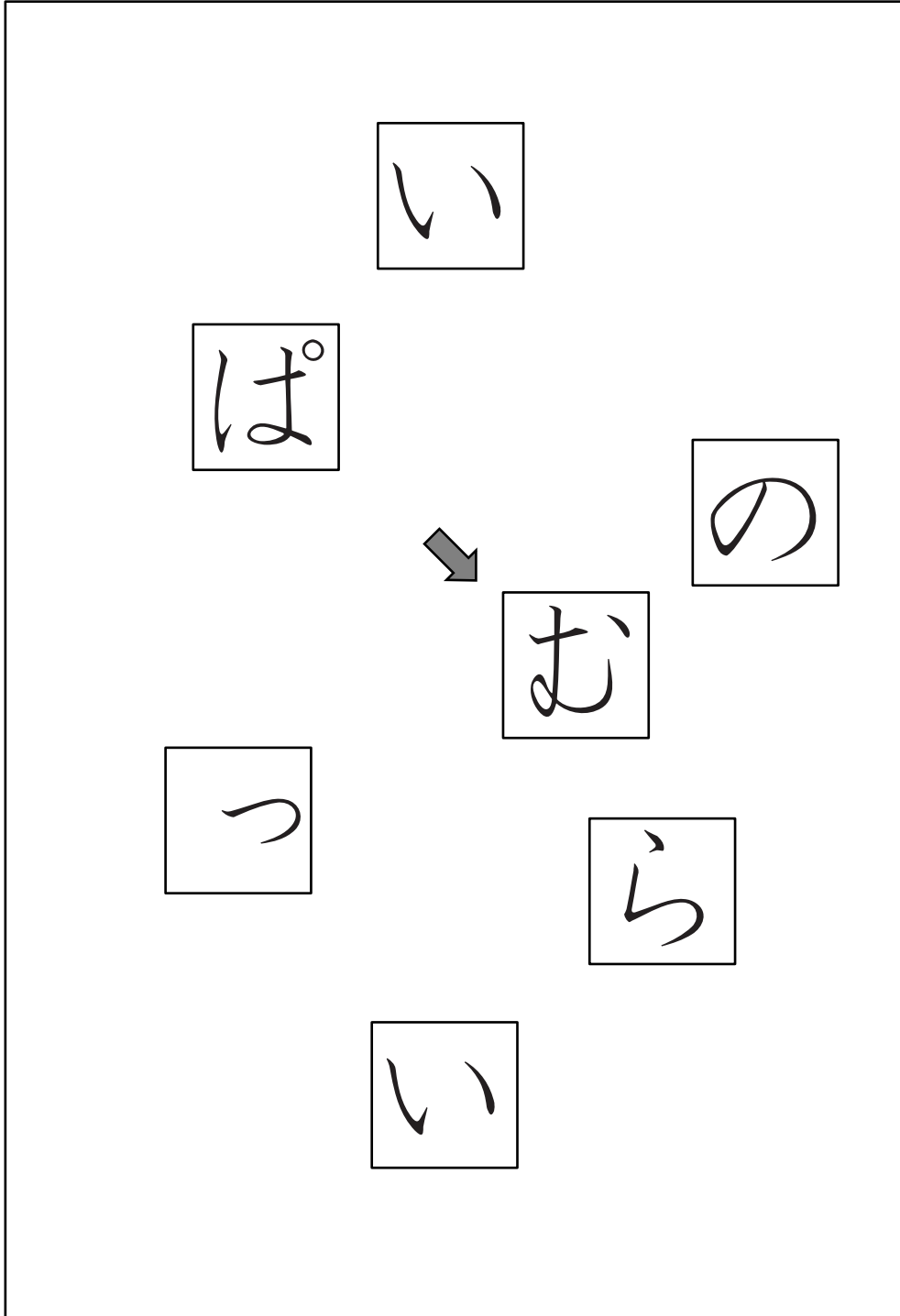


ゆきとけて.....

ラパン 5-4

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

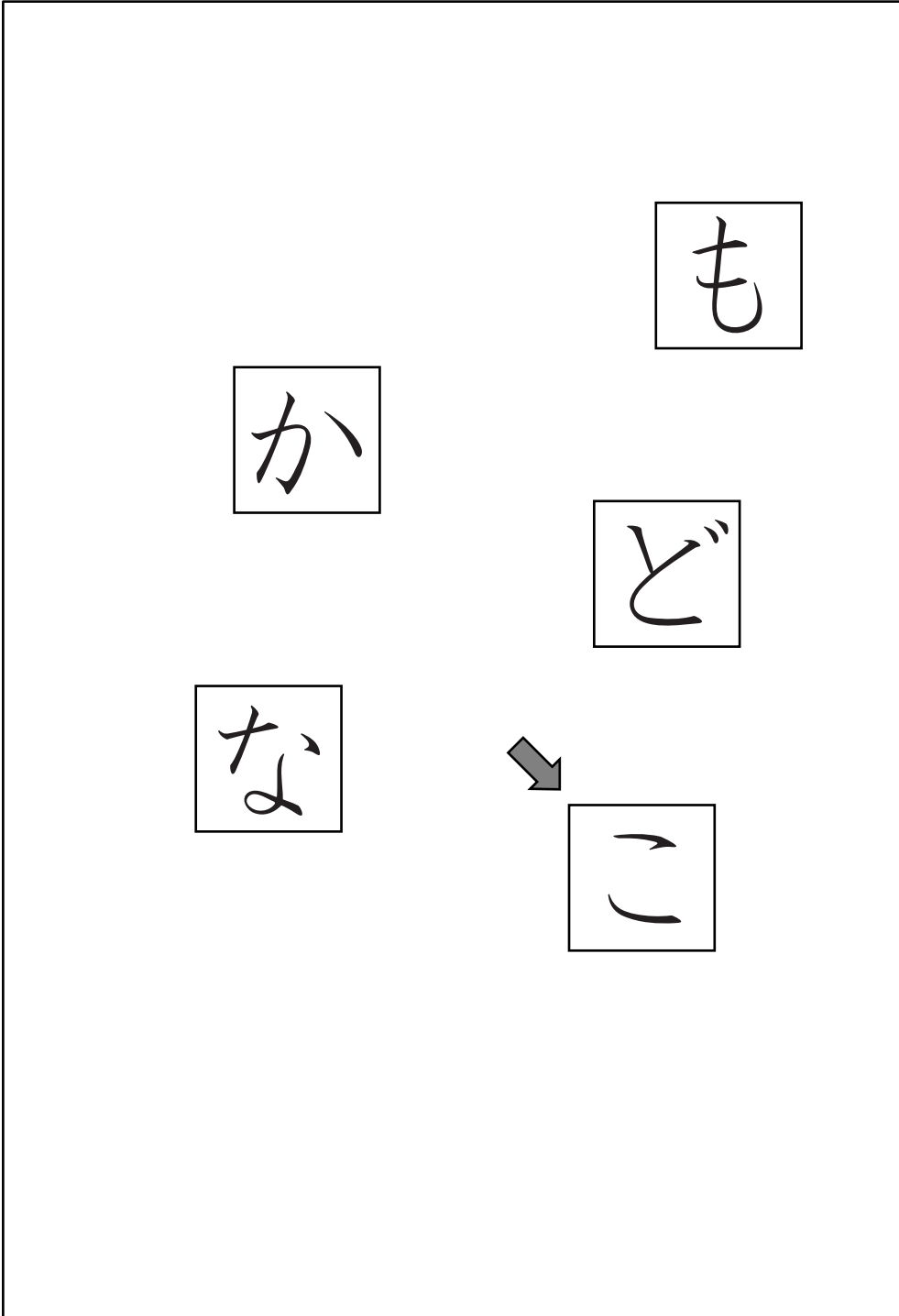


・  
・  
む  
ら  
っ  
は  
い  
の  
・  
・

ラパン 5-5

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。



こどもかな

# ラパン 5 - 6

なまえ

はじめからおわりまで、<sup>すす</sup>進みましょう。

はじめ



ゆ	き	と	き	だ	で	ま	を	つ
き	と	け	の	え	ゆ	る	た	く
と	け	て	む	ら	き	だ	し	り
け	た	あ	ひ	い	は	る	ま	ま
て	み	た	い	つ	に	が	き	す
に	ず	た	か	ぱ	い	の	こ	と
な	り	か	わ	い	だ	ち	ど	り
れ	が	な	に	の	こ	た	も	か
て	い	き	ま	す	ど	も	か	な



おわり

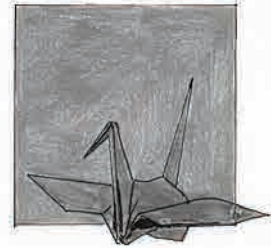
# ラパン 5-7

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

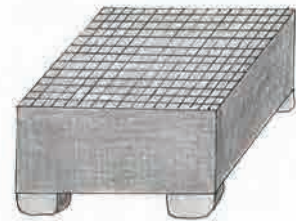
いちまい  
一枚

おりがみ



いちめん  
一面

ごばん



いっそく  
一足

たび





# ラパン 5 - 8

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

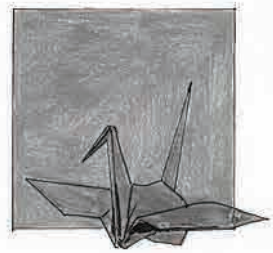
いちめん  
一面

ごばん



いちまい  
一枚

おりがみ



いっそく  
一足

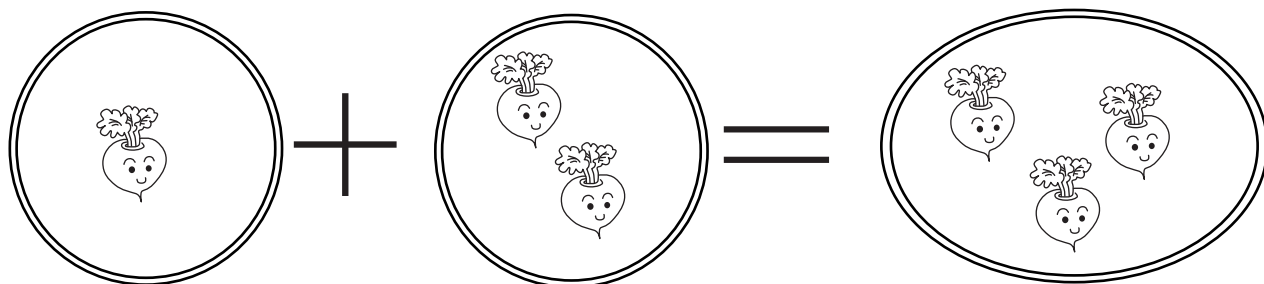
たび



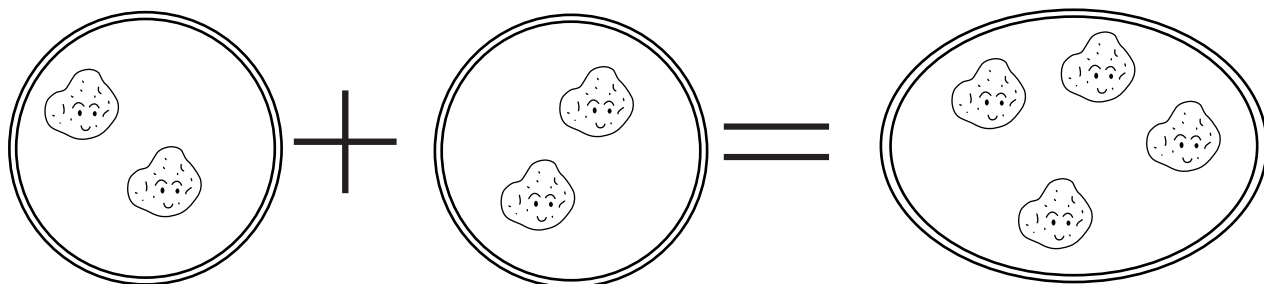
# ラパン 5 - 9

なまえ

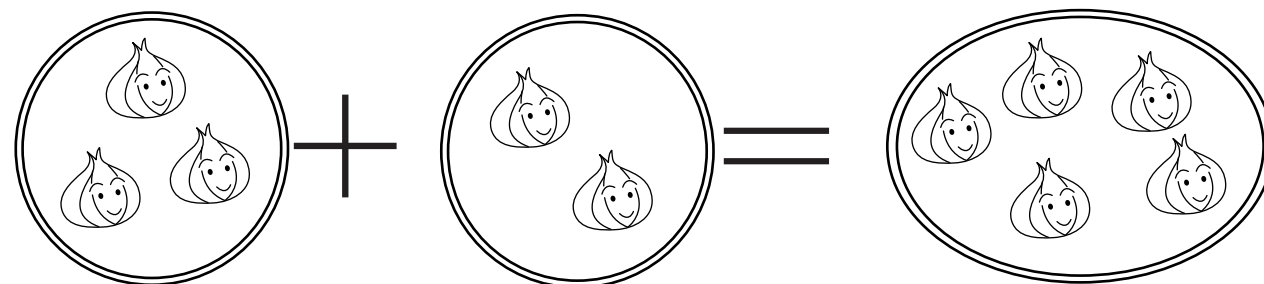
すうじをなぞりましょう。  
たしざんをしましょう。



$$1 + 2 = 3$$



$$2 + 2 = 4$$



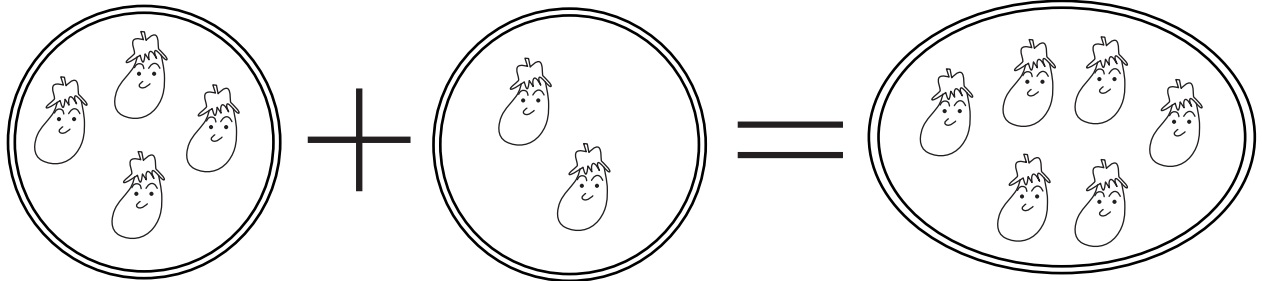
$$3 + 2 = 5$$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

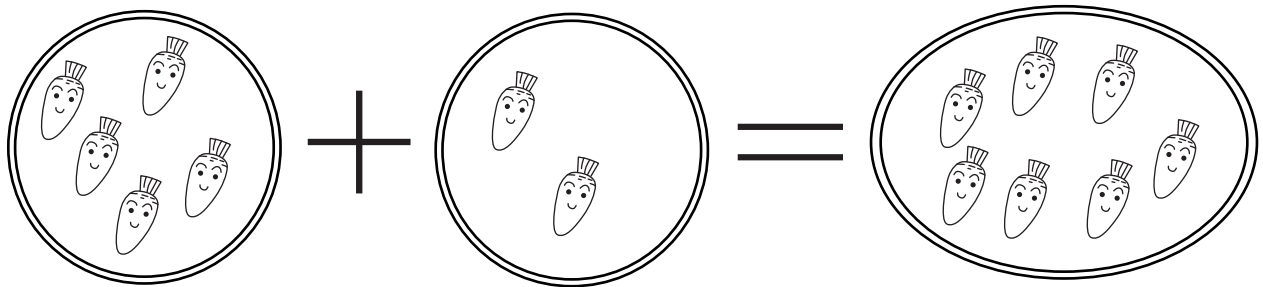
# ラパン 5 - 10

なまえ

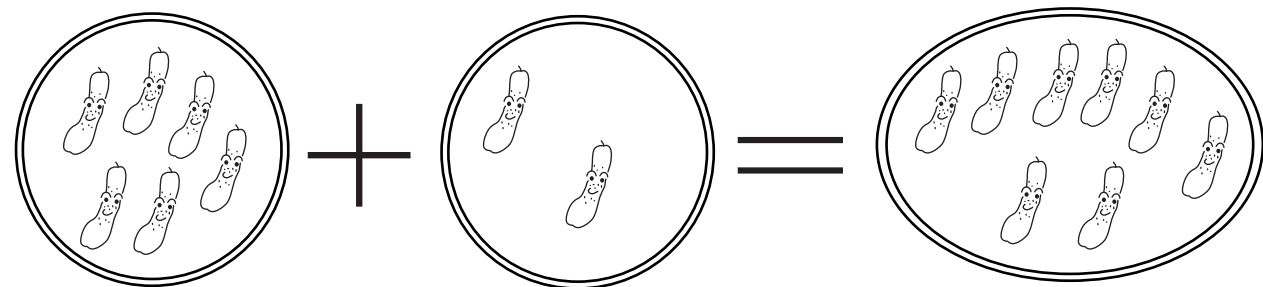
すうじをなぞりましょう。  
たしざんをしましょう。



$$4 + 2 = 6$$



$$5 + 2 = 7$$



$$6 + 2 = 8$$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

# ラパン 5-11

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

いっすん <sup>むし</sup>  
一寸の虫にも

ごぶ <sup>たましい</sup>  
五分の魂



いのち  
命あつての

ものだね  
物種



い  
言わぬが

はな  
花



いま <sup>な</sup> <sup>からす</sup>  
今泣いた鳥が

もう <sup>わら</sup>  
もう笑う



# ラパン 5 - 12

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

いっ すん むし  
一寸の虫にも  
ご ぶ たましい  
五分の魂

ちい  
小さくてもすごいぞ



いのち  
命あつての  
もの だね  
物種

い  
生きててよかった



い はな  
言わぬが花

だまっているほうが  
いいこともあるんだよ



いま な からす  
今泣いた鳥が  
もう わら  
もう笑う

あつというまに  
えがおだね



# ラパン 5 - 13

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

いっ すん むし  
一寸の虫にも  
ご ぶ たましい  
五分の魂

な おも  
泣いていたと思ったら、すぐ  
き げん なお わら  
に機嫌を直して笑うこと。



いのち  
命あつての  
もの だね  
物種

はつきりと口に出して言わな  
いほうが味わいがあること。



い はな  
言わぬが花

し  
死んではおしまいである。



いま な からす  
今泣いた鳥が  
もう わら  
もう笑う

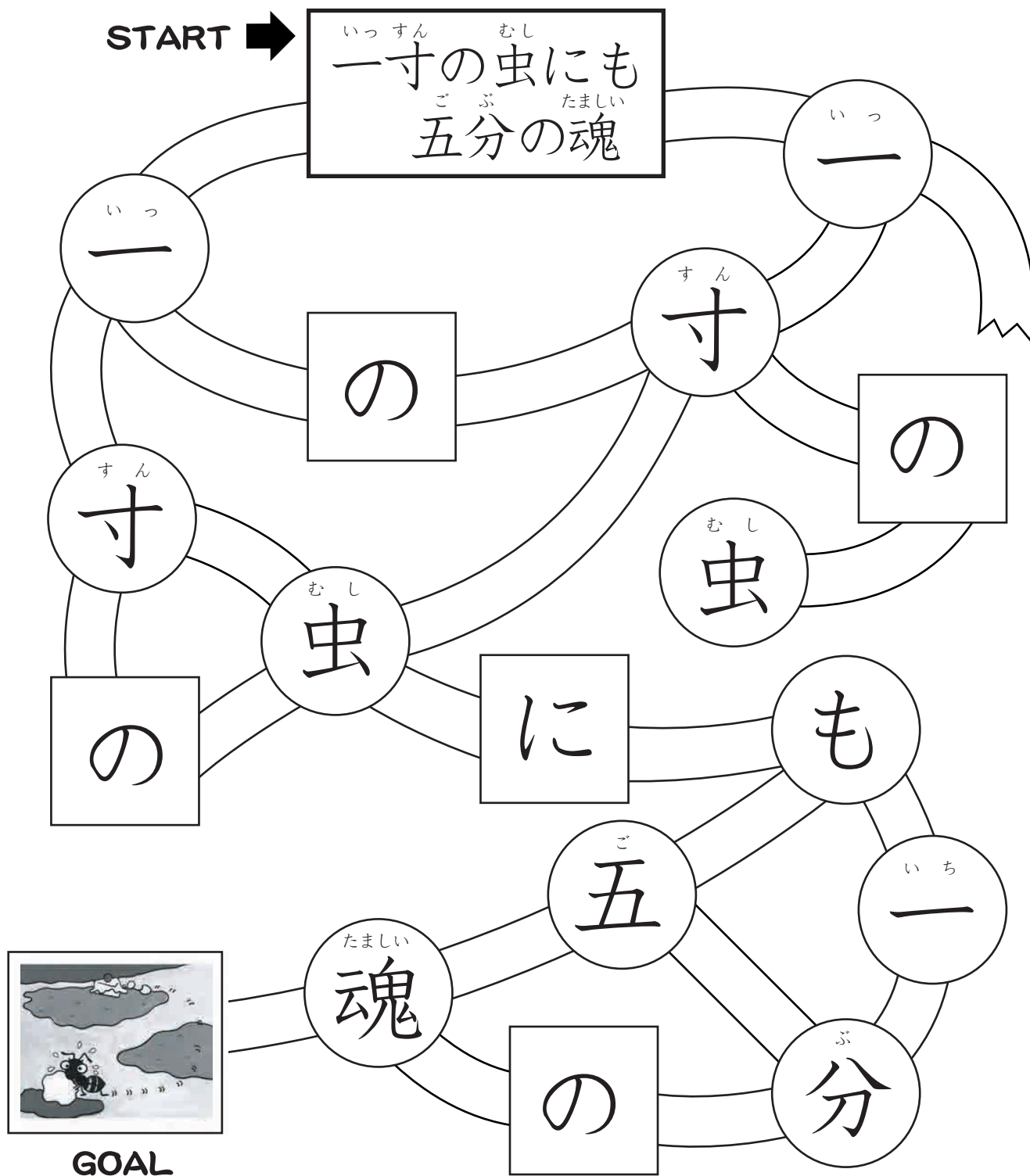
ちい  
どんなに小さくても、  
あなどってはいけない。



# ラパン 5 - 14

なまえ

スタートからゴールまでいきましょう。



- 1 ほしはほしでも、<sup>た</sup>食べられるすっぱい  
ほしはなあに？

うめぼし

- 2 <sup>ご</sup>五こでも<sup>いっ</sup>一こあるといっている<sup>た</sup>食べ<sup>もの</sup>物は  
なあに？

いちご



- 1 さんかく<sup>あたま</sup>頭に、足<sup>あしじっぽん</sup>十本。海<sup>うみ</sup>にいるすみを  
はく<sup>どうぶつ</sup>動物ななに？

いか

- 2 とげだらけの服<sup>ふく</sup>を着<sup>き</sup>ている秋<sup>あき</sup>の食<sup>た</sup>べ物<sup>もの</sup>な  
なに？

くり

ラパン 5 - 17

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

いっ せき  
一石

に ちよう  
二鳥



む が  
無我

む ちゆう  
夢中



だい どう  
大同

しょう い  
小異



# ラパン 5 - 18

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

だいどうしょうい  
大同小異

ちょっとちがうよ



いっせき にちょう  
一石二鳥

ついでにとくしちやった



む が む ちゆう  
無我夢中

それしかかんがえら  
れない!



# ラパン 5 - 19

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

だいどうしょうい  
大同小異

ひと ことどう ふた とく  
一つの行動で二つ得を  
すること。



いっせき にちょう  
一石二鳥

なに こころ うば  
何かに心を奪われ、  
我<sup>われ</sup>を<sup>わす</sup>れること。

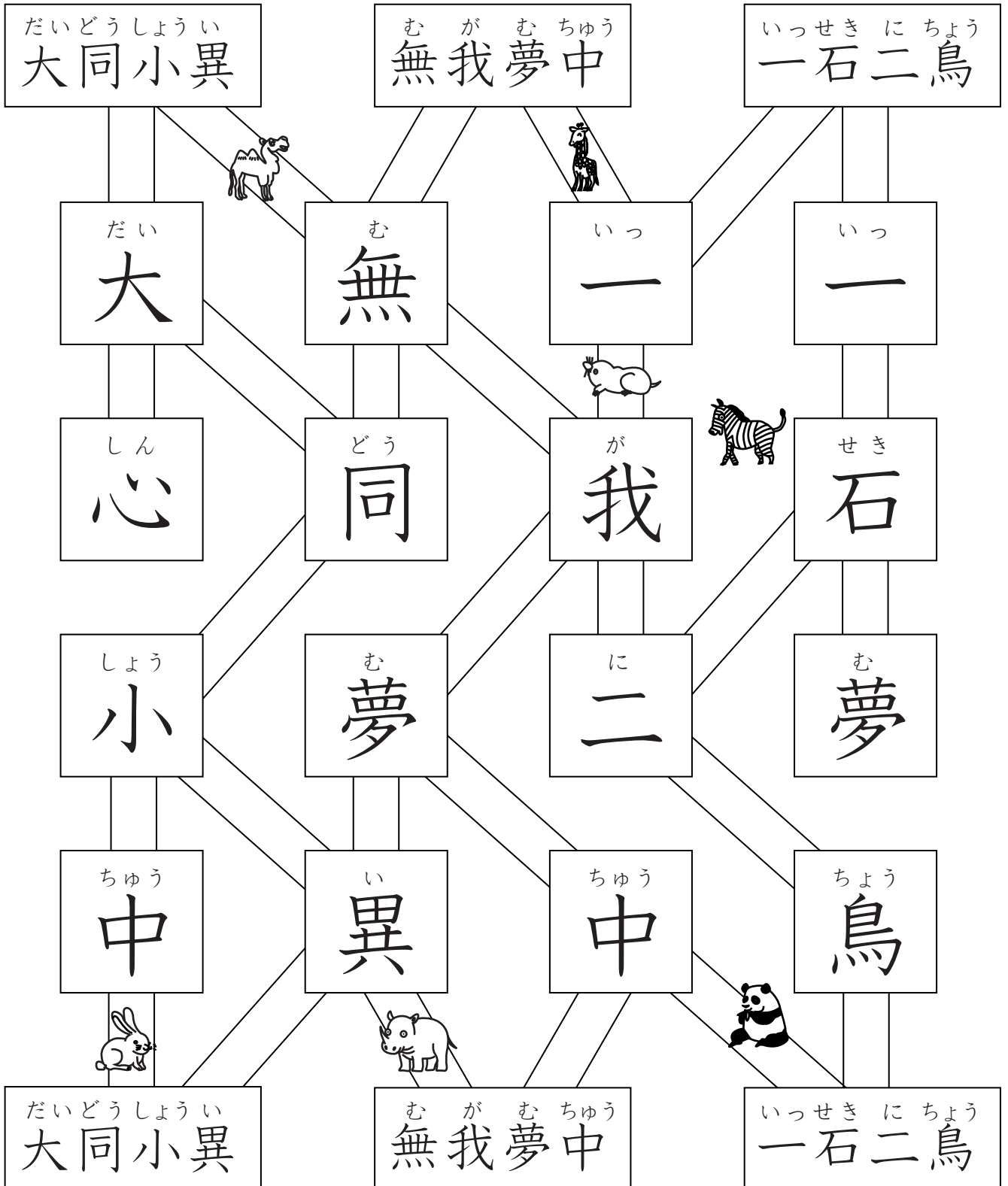


む が む ちゆう  
無我夢中

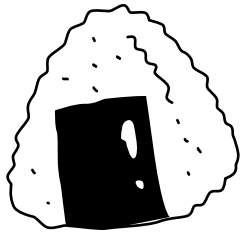
ほんどんどうおなじである。



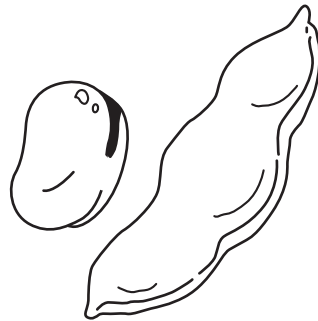
線せんでむすびましょう。



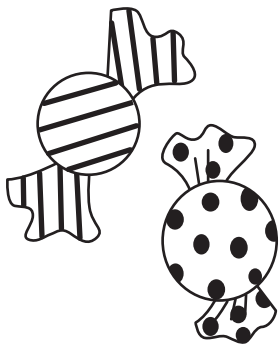
ジャックは牛<sup>うし</sup>となにをこうかんしましたか？  
こうかんしたものに、○をつけましょう。



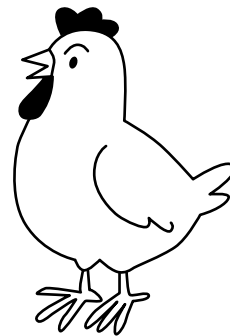
おにぎり



まめ

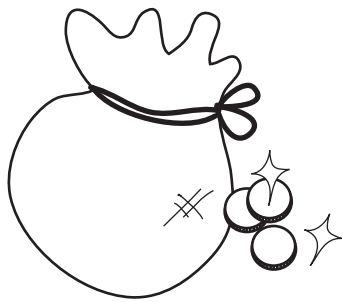


あめ

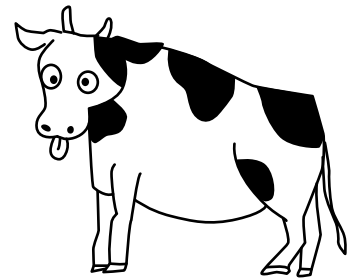


にわとり

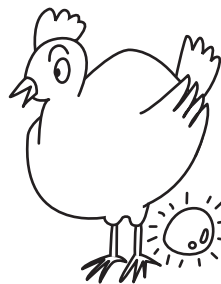
ジャックが天<sup>てん</sup>からもってきたものに○をつけ  
ましょう。



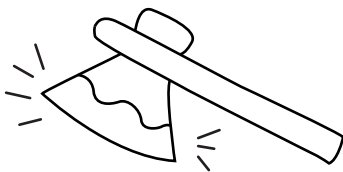
きん  
金かのはいった  
ふくろ



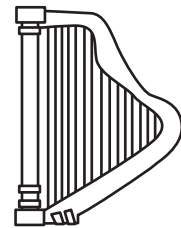
うし



きん  
金のたまごをうむ  
にわとり



きん  
金のおの

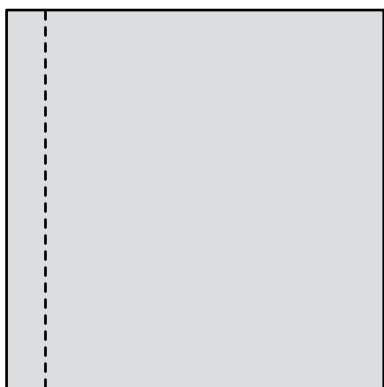


きん  
金のたてごと

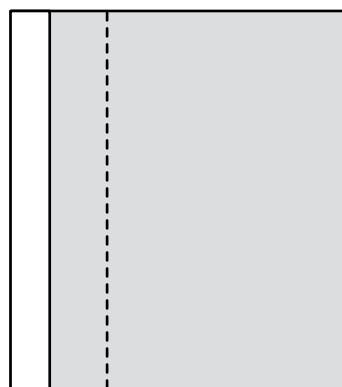
# ラパン 5 - 23

なまえ

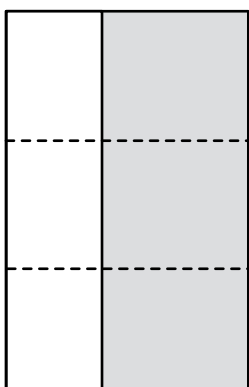
《こい》



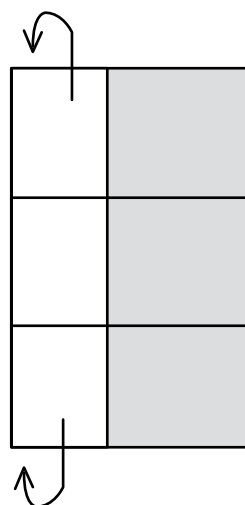
- 1 はしを すこし たにおり  
にする



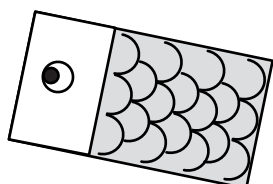
- 2 1よりも さらに おおきく  
たにおりする



- 3 3とうぶん するように  
おりせんを つける



- 4 おりせんに あわせており、  
りょうはしを かさねあわせる



めと うろこを かいて、  
こいの かんせい